

エコアクション21 環境経営レポート



対象期間

令和4年8月～令和5年7月
(2022年) (2023年)

株式会社 柏原鐵工所

令和5年12月25日 作成

目 次

1	社長挨拶	2
2	事業活動の概要	3
	会社概要	
	環境管理に関する組織図	
	環境管理における活動体制	
3	環境経営方針	5
4	活動指針	5
5	環境経営目標（令和4年度）	6
	目標設定項目	
6	環境経営計画（令和4年度）	8
7	今年度の目標・実績・評価（令和4年度）	9
8	その他の環境活動	10
9	今年度の活動評価（令和4年度）及び次年度の経営計画	11
10	該当環境関連法規、訴訟の有無	12
11	地震、火災、液体物の漏れ等による緊急時対応マニュアル	13
12	代表者による評価と見直し及び指示	15
13	来年度に向けて	16



社長の挨拶



2020年の1月から世界で蔓延^{まんえん}していた中国・武漢から広まったウィルスがようやく治まりを見せ、世界より一足遅く日本でも騒動前の日常に戻りつつあります。しかしながら、昨年2月にロシアがウクライナに侵攻した戦争は収まる気配はなく長期戦になってきています。更に、今年10月には中東のイスラエルでガザ地区を支配するテロ組織『ハマス』がイスラエル領内に攻撃を仕掛け、多数の住民を殺害し200人以上の人質を取るという暴挙^{ぼうきょ}に出ました。ウクライナ戦争に続き中東で紛争が大きくなれば、原油の大半を中東地域に依存する日本にとって紛争が拡大長期化すれば、影響はジワジワと出てくるでしょう。現状でもエネルギー価格は高騰し、電気やガス代・輸送に掛かるコスト・食料など多方面に渡って価格が上昇してきています。来年4月にはいわゆる“2024年問題”と云う輸送に関わる運転手の不足が大きく響いてくるでしょう。



建設業界全体では、安定した需要が見込まれ仕事は今後増加傾向にありますが、採算を取るのが厳しい状況です。受注競争の激化や建設資材の高騰^{こうとう}、労働力不足で技術を持った職人の確保に伴う労務費の増加、労働者の後継者育成費用、設備投資するための機械の値上がり等の要因が挙げられます。これらのことを考えると、経営が厳しくなる建設会社も増えてくるでしょう。この問題にどう対処していくかが重要な課題であり、これをクリア出来れば大きく飛躍することが出来るでしょう。



令和5年11月20日

株式会社 柏原鐵工所

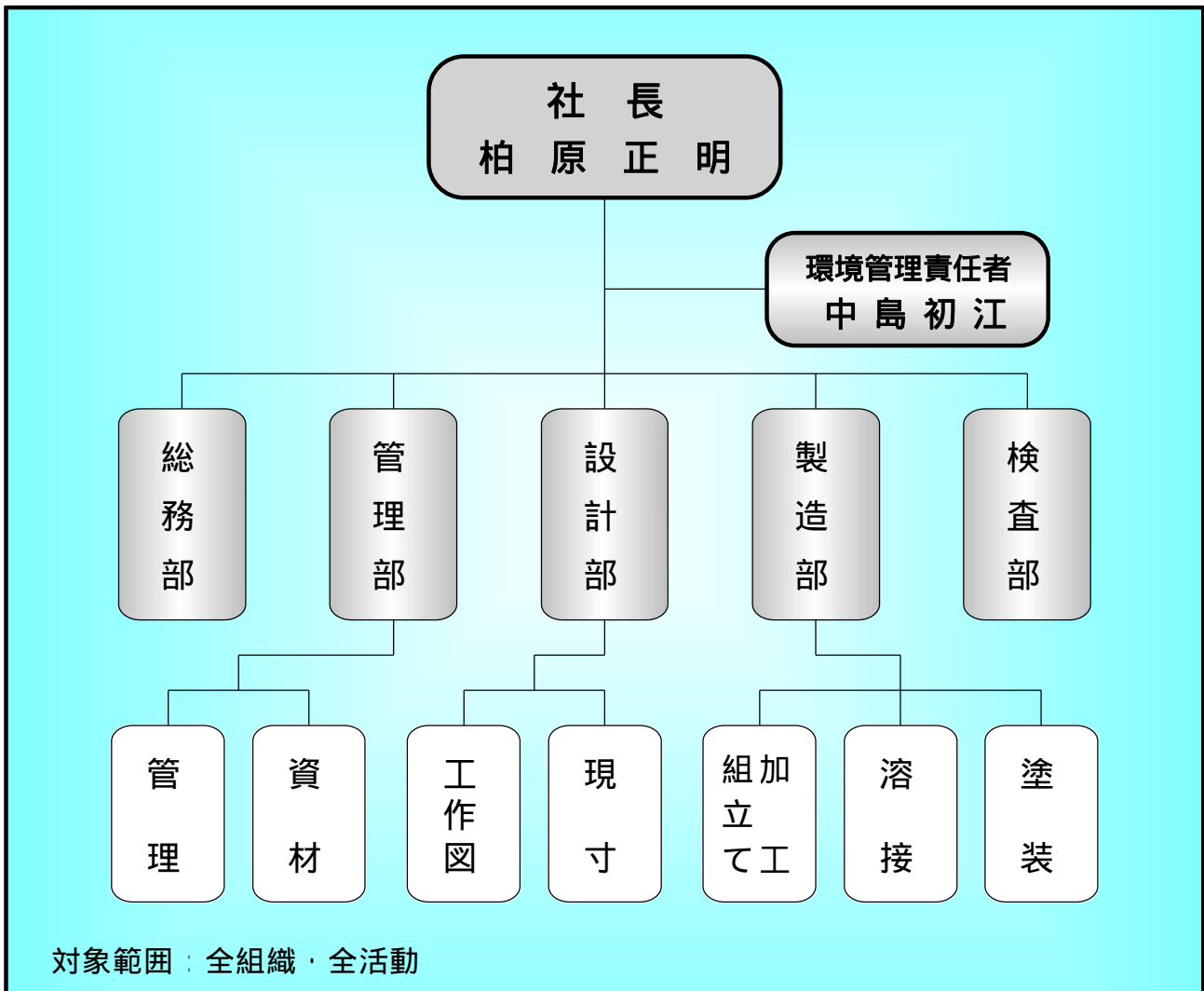
代表取締役社長 柏原正明

事業活動の概要

会社概要

事業所名 代表者名	 株式会社 柏原鐵工所 代表取締役社長 柏原正明														
住所・連絡先	本社・工場 〒425-0045 静岡県焼津市祢宜島124-2 大井川工場 〒421-0203 静岡県焼津市藤守2045 (平成30年3月開設) 電話 054-624-5803 FAX 054-623-0046 web https://www.kashiwa-t.com e-mail info@e-kashiwa.com k.kajiya@ka.tnc.ne.jp														
建設業許可	建築工事業・鋼構造物工事業 静岡県知事許可（般-3）第2124号 大臣認定 全構協Hグレード 認定番号 TFB H - 214646														
事業内容	一般建築・耐震ブレース・階段の鉄骨製作及び鉄骨工事一式														
事業の規模	従業員数 30名（令和5年11月現在） 資本金 800万円 売上高 24件 約4億6,565万円（令和4年度実績） 延べ床面積 3,677.2㎡														
主要取引先 (敬称略50音順)	<table border="0"> <tr> <td>臼幸産業株式会社</td> <td>木下建設工業株式会社</td> </tr> <tr> <td>株式会社 国都</td> <td>五光建設株式会社</td> </tr> <tr> <td>近藤建設工業株式会社</td> <td>清水建設株式会社</td> </tr> <tr> <td>瀬戸建設株式会社</td> <td>第一建設株式会社</td> </tr> <tr> <td>東急建設株式会社</td> <td>戸田建設株式会社</td> </tr> <tr> <td>日鉄物産システム建築株式会社</td> <td>株式会社 橋本組</td> </tr> <tr> <td>名工建設株式会社</td> <td></td> </tr> </table>	臼幸産業株式会社	木下建設工業株式会社	株式会社 国都	五光建設株式会社	近藤建設工業株式会社	清水建設株式会社	瀬戸建設株式会社	第一建設株式会社	東急建設株式会社	戸田建設株式会社	日鉄物産システム建築株式会社	株式会社 橋本組	名工建設株式会社	
臼幸産業株式会社	木下建設工業株式会社														
株式会社 国都	五光建設株式会社														
近藤建設工業株式会社	清水建設株式会社														
瀬戸建設株式会社	第一建設株式会社														
東急建設株式会社	戸田建設株式会社														
日鉄物産システム建築株式会社	株式会社 橋本組														
名工建設株式会社															
エコ アクション 21	認証・登録番号 0004784 認証・登録日 平成22年3月29日 有効期間 令和6年3月28日 環境管理責任者 中島初江 実務担当者 柏原佳香・中島重男 連絡先 k.kajiya@ka.tnc.ne.jp  エコアクション21 認証番号0004784														

環境管理に関する組織図



環境管理における活動体制

代 表 者	柏原正明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動の目標及び計画の承認 ・ 環境活動全体の評価と見直し及び指示 ・ 環境経営方針の策定及び改定 ・ 経営資源の準備 ・ 経営の課題とチャンスの明確化 ・ 実施体制の構築 	連絡担当者
環境管理責任者	中島初江	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動の計画立案及び実施と経営者への報告 ・ 環境活動の自己チェックの実施 ・ 環境方針及び活動計画の見直し ・ 環境教育の推進 	
実務担当者	柏原佳香 中島重男	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理責任者の補佐 ・ 廃棄物の分別処理 ・ 管理データの収集及び比較整理 ・ 『環境経営レポート』の作成 	

環境経営方針

株式会社柏原鐵工所は、建設事業を経営していくに当たり、地域との関わりを大切にし、環境に負担を掛けないよう配慮し、ゴミ削減及び再利用・再資源化に寄与し、また、有害化学物質の低減を最大限に実現できるよう努力し、省資源化・省エネルギーを推進して二酸化炭素排出量を減らし、尚且つ経済的に成り立つ会社にして、持続可能な循環型社会づくりを目指します。

このような活動を通して地球温暖化の防止に貢献します。

活動指針



1	事業活動において、省資源化・省エネルギーを推進し二酸化炭素排出量の削減・水使用量の削減を目指す。
2	事業活動において、工場や工事現場で発生する産業廃棄物の排出削減を目指すと共に廃棄物の収集・分別を徹底して行い、再資源化できるように努める。
3	有害化学物質の含有量が少ない塗料や溶接棒の推奨に努める。
4	機械設備及び備品購入の際、グリーン購入の推奨に努める。
5	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動を徹底する。 安全活動の推進に努める。
6	上記の活動を継続させるため、数値目標を設定し、それに基づいて査定・評価して日々の改善に努める。
7	事業活動において、弊社は環境関連法規制及びその他の関係法令を遵守し、環境保全に努める。
8	当社は上記活動を実施するに当り、本方針に従業員及び外注員全員に周知徹底します。又、この活動内容を地域社会にお知らせします。

改訂日：令和4年10月1日 (株)柏原鐵工所 代表取締役 柏原正明



環境経営目標 (令和4年度)

弊社では今年度の『環境経営レポート』の基準年を 令和2年度 の実測値とし、そこから今年度の基準値及び目標値を設定して、令和4年度の実測値と比較しました。そして比較項目は13項目としました。

基準年である令和2年度の実測値を、仕事量を同等にした上で、その数値から毎年マイナス1%を目標値とし比較する事としました。

【基準値・目標値の設定方法】

各年度の受注件数の増減によって実測値が大きく変動するので、目標値との比較はそのままでは比較できないと考えます。仕事量に直接関係のある鋼材の購入量（支給材含む）を基準とし、その増減の割合を基準年の各データに掛け合わせ比較します。

年 度	鋼材購入量(支給材含む)	割 合	基 準 値
平成30年度	4,342.7 t	100.0 %	旧基準年
令和元年度	4,021.6 t	92.6 %	旧基準年に対する鋼材購入量の増減率
令和2年度	2,545.2 t	100.0 %	基準年の各データ
令和3年度	1,858.4 t	73.0 %	基準年に対する鋼材購入量の増減率
令和4年度	2,465.5 t	96.9 %	基準年の各データに96.9%を掛けた数字が基準値となる

上記表のとおり、基準年の鋼材購入量（支給材含む）を100%とすると、今年度その増減率は96.9%となる。よって基準年の各項目のデータ数に96.9%掛けた数値が仕事量同等数値（以後『基準値』という）と云う事とします。

$$\text{基準年の各項目のデータの数値} \times 96.9 \% = \text{基準値}$$

上記計算を行うと各データ数値は基準年と比較できる“基準値”となる。この基準値から毎年1%削減した数値（今年度:98%）が今年度の『目標値』になります。

$$\text{基準年の各項目のデータの基準値} \times 98.0 \% = \text{目標値}$$

これによって、令和4年度の各項目の“目標値”が出てきます。この数値が令和4年度の【実測値】と比較出来ることとなります。

この方程式を当てはめると令和4年度の各項目の目標値は、次項の表となります。



目標設定項目 (令和 4 年度)

中長期目標
(令和 5 年度 ~ 令和 6 年度)

比較項目		年度	令和 4 年度 (2022 年度)		令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)
		令和 2 年度 (2020 年度)	基準値 基準年 × 96.9 %	目標値 基準値 × 98 %	目標値 基準値 × 97 %	目標値 基準値 × 96 %
電力使用量	(KWh)	127,871.0	123,870.0	121,392.6	- 3 %	- 4 %
水使用量	(m ³)	446.0	432.0	423.4	- 3 %	- 4 %
コピー用紙	(kg)	390.0	377.8	370.2	- 3 %	- 4 %
化石燃料	ガソリン (L)	1,791.9	1,735.8	1,701.1	- 3 %	- 4 %
	軽油 (L)	3,140.5	3,042.2	2,981.4	- 3 %	- 4 %
産業廃棄物排出量	鉄くず (kg)	82,893.0	80,299.3	78,693.3	- 3 %	- 4 %
	その他の資源ゴミ (kg)	5,250.0	5,085.7	4,984.0	- 3 %	- 4 %
	埋立てゴミ (kg)	3,493.0	3,383.7	3,316.0	- 3 %	- 4 %
一般廃棄物排出量	燃えるゴミ (kg)	1,375.0	1,332.0	1,305.3	- 3 %	- 4 %
	ダンボール (kg)	560.0	542.5	531.6	- 3 %	- 4 %
	その他の資源ゴミ (kg)	507.0	491.1	481.3	- 3 %	- 4 %
有害化学物質排出量	(kg)	684.4	663.0	649.7	- 3 %	- 4 %
二酸化炭素排出量	(kg - CO ²)	89,114.9	86,326.5	84,600.0	- 3 %	- 4 %

基準年の購入電力のCO2排出係数は、出光グリーンパワー(株) = 0.462 kg-CO₂ / kwh (本社工場 5 ヶ月)
 鈴与商事(株) = 0.553 kg-CO₂ / kwh (本社工場 7 ヶ月)
 中部電力(株) = 0.426 kg-CO₂ / kwh (大井川工場 12 ヶ月) を適用。

産業廃棄物(その他の資源ゴミ)は、木くず・廃油・プラ結束バンド・プレート型紙などを指す。
 一般廃棄物(その他の資源ゴミ)は、新聞雑誌雑紙等の紙類・廃プラ(マーク付)・ペットボトルなどを指す。

令和 5 年度以降の目標値は、その年の鋼材購入量(支給材も含む)により変動します。

基準年も社会情勢や景気・仕事量の変化によって変更する場合があります。

グリーン購入は努力目標の為、目標管理の対象から除外しています。

【目標値について】

“**基準年**”の数値と対照年度の数値をそのまま比較すると、その年々の社会情勢とか景気によって仕事量が大きく左右されるので単純に比較するのは妥当ではないと判断しました。そこで仕事量を出るだけ同等にするためには何かと考え、鋼材の購入量(支給材含む)が仕事量に影響するので、その増減率を他の数値に反映させて“**基準値**”とし、その基準値に削減率を掛けた数値を“**目標値**”とします。この目標値と対照年度の“**実測値**”を比較する事で、実測値同士を比較するよりも正確に比較できるものと考えました。

今年度の基準年は令和 2 年度を採用しています。

環境経営計画 (令和4年度)



取り組み事項	取り組み内容 (詳細)	担当部署 (責任者)
仕事を円滑に効率よくするための取り組み 	5S (整理・整頓・清潔・清掃・躰) の徹底、安全活動の継続	製造部 (青島)
	機械設備の定期点検・整備の徹底	
二酸化炭素排出量削減に関する取り組み	照明器具のLED化、蛍光灯その他電化製品の不必要時の消灯・省電	総務部 (柏原佳)
	空調設備の温度設定の徹底 (夏26°C以上/冬22°C以下)	
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調整	
	照明器具・空調設備の定期的な清掃 (頻度: 年1回)	
	省エネタイプの設備機器の継続的導入	
 	計画的な輸送・運搬の実現	管理部 (飯田)
	自動車の急発進・急加速の禁止、アイドリングストップの励行	
	安全運転の為にドライブレコーダー等安全装置の導入	
	自動車の定期点検・整備の励行	
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み 	3Rの徹底 Reduce (ゴミ削減)・Reuse (再利用)・Recycle (再資源化)	総務部 (中島初)
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底	
	コピー用紙の両面印刷、使用済み紙の両面使用	
	図面及び書類等の電子化推進	管理部 (石原)
	廃棄物を出さないために購入時の再検討	
	材料・消耗部品等の無駄のない使い方を周知徹底	
原材料や溶接材料に関する取り組み	材料の在庫管理 (棚卸し: 年1回・7月末)	製造部 (木原)
	原材料や溶接加工時に使用する炭酸ガス・酸素ガス・アセチレンガス・溶接材や塗料材等を効率よく最適な量を使用する	
有害化学物質削減に関する取り組み 	顧客に対して有害化学物質の含有量が少ない、又は有害化学物質が含まれていない溶接材や塗料材を提案する	管理部 (石原)
水道水削減の取り組み 	節水に努める	総務部 (柏原佳)
	止水の確認、漏水検査	
その他環境活動の取り組み	グリーン購入の取り組み	総務部 (中島初)
	防災訓練の実施 (シェイクアウト訓練)	
	周辺住民の避難場所提供、海岸清掃参加 他	

今年度の目標・実績・評価 (令和4年度)

比較項目		年度	令和4年度 (2022年度)		評価	基準年 との比較 $\frac{B}{A} \times 100$	
		令和2年度 (2020年度)	基準値 基準年 × 96.9 %	目標値 基準値 × 98 %			実測値 B
電力使用量 (KWh)		127,871.0	123,870.0	121,392.6	136,738.0	×	106.9%
水使用量 (m ³)		446.0	432.0	423.4	512.0	×	114.8%
コピー用紙使用量 (kg)		390.0	377.8	370.2	386.1	×	99.0%
化石燃料	ガソリン (L)	1,791.9	1,735.8	1,701.1	1,966.4	×	109.7%
	軽油 (L)	3,140.5	3,042.2	2,981.4	3,045.5	×	97.0%
産業廃棄物排出量	鉄くず (kg)	82,893.0	80,299.3	78,693.3	80,885.0	×	97.6%
	その他の資源ゴミ (kg)	5,250.0	5,085.7	4,984.0	4,150.0		79.1%
	埋め立てゴミ (kg)	3,493.0	3,383.7	3,316.0	2,380.0		68.1%
一般廃棄物排出量	燃えるゴミ (kg)	1,375.0	1,332.0	1,305.3	1,700.0	×	123.6%
	ダンボール (kg)	560.0	542.5	531.6	500.0		89.3%
	その他の資源ゴミ (kg)	507.0	491.1	481.3	630.1	×	124.3%
有害化学物質排出量 (kg)		684.4	663.0	649.7	645.3		94.3%
二酸化炭素排出量 (kg - CO ₂)		89,114.9	86,326.5	84,600.0	101,907.1	×	114.4%

基準年の購入電力のCO2排出係数は、出光グリーンパワー(株) = 0.462 kg-CO₂ / kwh (本社工場 5ヶ月)
 鈴与商事(株) = 0.553 kg-CO₂ / kwh (本社工場 7ヶ月)
 中部電力(株) = 0.426 kg-CO₂ / kwh (大井川工場 12ヶ月) を適用、
 実測値の購入電力のCO2排出係数は、鈴与商事(株) = 0.612 kg-CO₂ / kwh (本社工場 5ヶ月)
 日本テクノ(株) = 0.484 kg-CO₂ / kwh (本社工場 7ヶ月)
 中部電力ミライズ(株) = 0.388 kg-CO₂ / kwh (大井川工場 12ヶ月) を適用、
 産業廃棄物(その他の資源ゴミ)は、木くず・廃油・プラ結束バンド・プレート型紙などを指す。
 一般廃棄物(その他の資源ゴミ)は、新聞雑誌雑紙等の紙類・廃プラ(マーク付)・ペットボトルなどを指す。

評価としては・・・

令和4年度は、基準年より【鋼材購入量(支給材含む)】が96.87%と、基準年と同程度に回復して居ると思います。基準年は“武漢ウィルス”の影響の始まりであり、令和4年度は“武漢ウィルス”の影響の終わりの始まりであると考えます。また“目標値”が下がっているのに、“実測値”と比較すると13項目中4項目クリア出来ました。昨年より1つ増えました。両年度を“実測値”同士で比較する欄を加えましたが、基準年を下回っているのは7項目でした。個別に見ていくと、【電力使用量】【水使用量】【コピー用紙使用量】【二酸化炭素排出量】の4つは令和2年度以前はずっと連続クリア出来ていましたが、その後はクリア出来ていません。特に“電気使用量”は工事物件ごとの溶接量に大きく関係しています。【ガソリン・軽油使用量】はそれぞれ 対基準年比 109.7%・97.0%と微増・微減となっていますがこれは現場との移動が平年並みになって来たのでしょうか。【産業廃棄物排出量】は“鉄くず”のみクリアできませんでしたが、鉄くずの排出量は少しでも減らしたいです。【一般廃棄物排出量】は“ダンボール”のみクリアできました。“ダンボール”は昨年の審査人の提言により産業廃棄物の項目から一般廃棄物の項目に移動させました。“燃えるゴミ・その他の資源ゴミ”は 対基準年比 123~124%と増加していますが、これは垣根のマキの木を短く剪定したことや「雑誌・雑紙」が多かったようです。

次年度目標：変更なし

この続きは P16 です。

その他の環境活動

今年度は昨年度に続きコロナ禍の中でしたが、慣れてきたようで活動が再開されてきました。毎年恒例の「シェイクアウト訓練」や「ビーチクリーン作戦」も実施されました。又、新しい試みとして従業員による工場内パトロールを始めました。ポスターも作製して啓蒙活動をしていきます。

今年も焼津市で恒例の『シェイクアウト訓練』が9月22日行われました。訓練内容は毎年変わりますが日々の積み重ねが大事ですので気を抜くことなく行いました。弊社には外国人も数人いますので内容を説明して外注様も参加し、サイレンを合図に安全を確保できる事務所の机の下とか工場でも屈んだりして身を守る行動を取りました。最後には工場入口で安否確認をしたり、訓練の趣旨を全員で確認しました。その後、担当者による避難用具の動作確認や非常食等の賞味期限を確認し、入れ替えや追加購入も行ないました。



工場北側入口での安否確認

又、11月27日に行われた『ビーチクリーン作戦』は朝8時30分気持ちよい快晴の天気、大人や子供等大勢の市民や団体・企業の皆さんの協力もあり、1時間ほど汗を流しました。市役所の発表では参加者数は2,921人、回収量は15.92t（可燃物15.13t・不燃物0.79t）でした。



集められたゴミ



浜当目海岸の亀トイレ前

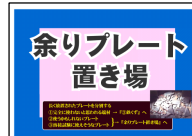
従業員や外注の皆さんに【工場内ゴミ配置図】を見せたり、ゴミの分別や工具類の片付けの説明を行ってきましたが、未だに『燃えるゴミ』箱の中にプラゴミや煙草の吸殻が入っていたり、道具が散らかっていたり改善されていない所がありました。今年2月より“工場内パトロール”を皆様にお願ひし、点検表にチェックしてもらうようにしました。これによって現状を知ってもらい、『これではいけない...』と思ってもらえるよう意識改革が出来ることを期待しています。



品名	数量	場所	備考
燃えるゴミ			
燃やさないゴミ			
資源物			
その他			



工場内を歩いていると判るのですが、ゴミや道具が散らかっている中で、プレートが床に直に置かれていたり、いつ注文したか判らない型板が山になって積まれている箇所が見受けられましたので『余りプレート置き場』を作りました。使わなくなったプレートを1箇所に集めて困った時に再利用してもらうようにしました。これでプレートを探す時、楽になると思います。



今まで溶接ワイヤーの残骸は別の対象外で『鉄くず』箱に入れていましたが、廃棄物業者の意向により分別することになりました。ひと手間掛かることにはなりますが、リサイクルできることになりましたので行うことにしました。



今年度はこんな啓蒙ポスターも作ってみました。どれも初歩的なものばかりですが継続させることが大切だと思います。



今年度の活動評価（令和4年度）及び次年度の経営計画

取り組み事項	取り組み内容（詳細）	担当部署 責任者	評価	次年度
仕事を円滑に 効率よくする ための取り組み 	5Sの徹底（整理・整頓・清潔・清掃・躰）・安全活動の継続	製造部 （青島）		継続
	機械設備の定期点検・整備の徹底			継続
二酸化炭素排出量削減 に関する取り組み  	照明器具のLED化、蛍光灯その他電化製品の不必要時の消灯・消電	総務部 （柏原佳）		継続
	空調設備の温度設定の徹底 （夏26 以上 / 冬22 以下）			継続
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調節			継続
	照明器具・空調設備の定期的な清掃 （頻度：年1回）			継続
	省エネタイプの設備機器の継続的導入	管理部 （飯田）		継続
	計画的な輸送・運搬の実現			継続
	自動車の急発進・急加速の禁止、アイドリングストップの励行			継続
	安全運転の為のドライブレコーダー等安全装置の導入			継続
自動車の定期点検・整備の励行			継続	
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み 	3Rの徹底 Reduce（ゴミ削減）Reuse（再利用）Recycle（再資源化）	総務部 （中島初）		継続
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底			継続
	コピー用紙の両面使用・使用済み紙の両面使用			継続
	図面及び書類等の電子化推進	管理部 （石原）		継続
	廃棄物を出さないために購入時の再検討			継続
	材料・消耗部品等、無駄の無い使い方を周知徹底			継続
	材料在庫の管理（棚卸し：年1回・7月末）			継続
原材料や溶接材料に関する取り組み	原材料や溶接加工時に使用する炭酸ガス・酸素ガス・アセチレンガス・溶接材や塗料材等を効率よく最適な量を使用する	製造部 （木原）		継続
有害化学物質削減に関する取り組み 	顧客に対して有害化学物質の含有量が少ない、又は有害化学物質が含まれていない溶接材や塗料材を提案する	管理部 （石原）		継続
水道水削減の取り組み 	節水に努める	総務部 （柏原佳）		継続
	止水の確認、漏水検査			継続
その他 環境活動の 取り組み	グリーン購入	総務部 （中島初）		継続
	防災訓練の実施（シェイクアウト訓練）			継続
	周辺住民の避難場所提供、海岸清掃参加 他			継続

該当環境関連法規、訴訟の有無

法律名	該当する要求	該当整備・項目	届け出先・報告先	評価項目	評価
建築基準法	・建築基準の遵守 ・建築工事業の許可	・設計・施工 ・工事業 ・工場	静岡県 国土交通省	許可期限	
				認定期限	
廃棄物処理法	《一般廃棄物》 ・一般廃棄物収集業者許可確認	・紙くず ・木くず その他	なし	許可業者	
	《産業廃棄物》 ・産業廃棄物委託業者との契約 ・処理基準の遵守 ・保管基準の遵守 60cm x 60cm 以上の表示 飛散、浸透防止、衛生管理 マニフェストの集計、報告	・廃油 ・汚泥 ・廃プラ	マニフェストの期限内返却ない場合 ……………知事へ報告 前年度の交付状況 ……………知事へ報告	契約書 許可書 マニフェスト管理	
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・管理責任者の設置 ・処理の委託先の実地確認とその記録の保存	・廃油 ・汚泥 ・廃プラ その他	不適正な処理が行われた場合 ……………知事へ報告	委託業者	
騒音規制法	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・コンプレッサー ・油圧機・切断機	焼津市	新設・変更	
				基準の遵守	
振動規制法	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・コンプレッサー ・油圧機・切断機	焼津市	新設・変更	
				基準の遵守	
静岡県生活環境の保全等に関する条例	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・ボール盤 ・研磨機 ・ショットブラスト	焼津市	新設・変更	
				基準の遵守	
浄化槽法	・浄化槽の設置 ・変更の届け出 ・保守点検 ・法定検査	・分離式 パッキ方式 20人	新設・変更の場合 ……………知事へ届け出	新設・変更	
				保守点検 (4ヶ月に1回) ・法定検査 (1年に1回)	
消防法	・指定可燃物の届け出 (指定数量の1/5以上)	・塗料 2,000kg	焼津消防署	新規・変更	
労働安全衛生法	・鉱物性粉じんの定期的測定検査 (半年に1回) ・溶接ヒュームの測定検査 (特定化学物質の取り扱い管理)	・特定化学物質 ・換気設備の設置 ・作業主任者の設置 ・呼吸用保護具のフィットテスト (1年以内毎に1回)	島田労働基準監督署	塵肺健康診断 (3年に1回)	
				・特定化学物質健康診断 (半年に1回)	
PRTR法	・有害化学物質管理	・キシレン、トルエン、鉛	静岡県省庁 ・届け出基準値以下	許可期限	
フロン排出抑制法	・冷凍空調機器 全ての第一種特定機器が対象	・自社に於いて簡易点検実施 (3ヶ月に1回以上)	企業・法人の管理者が確認		

遵守評価日：令和5年10月31日

法規制の遵守評価の結果、逸脱は有りませんでした。

過去3年間、当事業所における業務上関係のある法令及び条例違反、地域住民利害関係者からの訴訟及び苦情はありません。

地震、火災、液体物の漏れ等による緊急時対応マニュアル

1. 適用範囲	鉄工場敷地内（工場、事務所、資材置き場 他）
2. 目的	予防処置、発生時の処置を定め、汚染拡大を防止する。
3. 予防措置	<p>工場内及び作業中は“禁煙”とする。（休憩時間に指定場所でのみ喫煙）</p> <p>指定場所には消火器を設置し、法定点検を厳守する。</p> <p>工場内等で火気を使用する場合は周りを片付け、燃えやすい物がないか安全を確かめてから実施すること。</p> <p>重量物を保管する場合はあまり高く積み上げない事。</p> <p>やむを得ず積み上げるときは、荷崩れしないような対策を講じておく事。</p> <p>5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底。</p>
4. 緊急時の対応 （地震・火災）	<p>地震、火災等が発生した場合、人命を第一に行動すること。</p> <p>緊急時、人が倒れていた場合は安全な場所まで移動させる。</p> <p>意識の有無を確認。無かった場合は声をかける、肩をたたく等の刺激を与えて、反応を確認（体をゆすったり、動かしたりしない）。</p> <p>大声で周りの人に応援要請し、消防に通報、気道の確保、人工呼吸を行う。</p> <p>外出血、特に大出血を認めた場合は直ちに止血の処置を行う。</p>
（地震の場合）	<p>激震等の緊急事態が発生したら、安全な場所への一次避難を実施する。</p> <p>地震がおさまったら主電源を切ること。二次避難の実施。</p> <p>安全なことを確認の後、保管品の状態確認。</p> <p>保管品の飛散状態を確認し、液体物での漏れ等で水質や土壌汚染が考えられる場合は大声で周りの人に応援要請する。</p> <p>液体物での漏れ等が確認されれば、直ちにウエス等で周囲を囲い、流失拡大の防止に努める。（詳細は次頁参照）</p> <p>安全管理責任者に報告し、その後の処置を仰ぐ。</p> <p>津波警報が発令された場合は、大事なものだけを持ち、4階現寸場へ全員避難する。</p>
（火災の場合）	<p>火災等の緊急事態が発生したら大声で周りの人に通報。その後構内放送で応援要請する。危険と判断したら即座に非難する。</p> <p>応援要請を受けたものは直ちに消防へ連絡し、消火活動にあたる。</p> <p>対応不可能と判断した場合は、直ちに消防へ連絡し、危険と感じたら即座に避難を開始する。</p> <p>消防管理者に報告し、その後の処置を仰ぐ。</p>
5. 緊急連絡網	緊急時の緊急連絡網は別紙あり。
6. 防災訓練	実施日：毎年1回、9月頃に訓練を実施する予定。

オイル・塗料漏れ対策

『オイル・塗料漏れ』が発生した場合は、以下の道具を使って対処して下さい。

液体漏れ対策キット

油吸収シート …… 10枚
耐油手袋 …… 1枚
ゴミ袋 …… 2枚
ウエス …… 1袋
ハンドル付たわし …… 1個
油分散洗浄剤 …… 1個

手洗い場裏の棚にあります



オイル・塗料漏れ対策 作業手順

【工場内で漏れた場合】

オイル漏れ部分の下部にオイル漏れ対策用のポリ容器を設置しオイルを受ける。
こぼれたオイルをシートで吸収する。
床に残ったオイルに油分散洗浄剤をかけタワシでこする。
最後にウエスでオイルを拭き取る。
汚れたシートとウエスをゴミ袋に回収する。



【屋外で漏れた場合】

雨水経路を伝って外部へ流出してしまうため、少量の場合には吸着シートで回収し、残った油分には油分散洗浄剤をかける。
側溝に流れ込んだ場合には、雨水枡へ流入するのを吸着シート、土壌などで阻止する。

代表者による評価と見直し及び指示

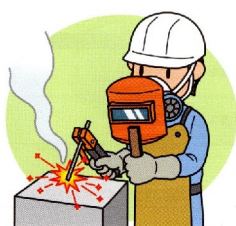
今年度は、後半より武漢肺炎の影響が薄まり人びとの生活が騒動前の状態に戻りつつあり、各種イベントや地域のお祭りも通常開催になり、海外からの観光客も騒動前の9割台に戻りました。しかし、ウクライナや中東での戦争や円高の影響で物価高となり、電気料金やガス料金、食料品やガソリン代の値上げ等で大多数の国民が生活に四苦八苦している状況です。政府は給付金や補助金支出で切り抜けようとしています。果たしてそれで良いのでしょうか。

今年度弊社は、回復傾向にあり、受注件数・受注総額は24件・4億6,565万円と共に横ばいか微増となりました。鉄骨鋼材購入量（支給材含む）は基準年と比べると96.9%と“微減”ですが、前年比較では132.7%と増えています。ea21の項目では13項目中4つとなり、昨年より1つ増えました。産業廃棄物の2項目と一般廃棄物の“ダンボール”の項目、そして、有害化学物質がクリアできました。二酸化炭素排出量がクリアできない中で、有害化学物質排出量がクリア出来たことが唯一の救いです。



今年度は、持続可能な循環型社会を目指しているため、持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)にも関係しているため、国際目標である17のゴール・169のターゲットとの関連性を表示してみました。

代表者としての指示は、次年度もea21の活動は環境経営方針・活動指針共に変更なく続けたいと思います。又、経営目標・経営計画・実施体制は【継続】とします。



現在、建設業界は数多くの課題を抱えています。人材不足・労働環境・建築資材の高騰・輸送を担う運転手の不足・法律や制度の変更などの問題も解決が難しいものばかりですが、弊社にとってどのような取り組みが適切かを検討し、働きやすい現場づくりや教育機会の充実に取り組み、労働環境の改善を進めていこうと思います。

来年度も設定した目標を下回るように重ねて協力・努力を従業員にお願いし、協力会社様にも同様の対応をして頂くように、会社一丸となって持続可能な循環型社会の構築して、次世代の人びとに住みよい環境を残していけるようにしたいと思います。

これからもよろしくお願ひします。

令和5年11月20日

株式会社 柏原鐵工所
代表取締役社長 柏原正明

来年度に向けて

P9 からの続きです。

【有害化学物質排出量】は 対基準年比 94.3% となってギリギリクリア出来ました。【鉄骨鋼材購入量】も増えているので当然ですが、もう少し減少するものと思いましたが、9 頁でも述べたように、例えば 1 本の柱に多くの付属物が付く物件があり、その場合当然溶接量が多くなるため“有害化学物質排出量”も多くなります。次年度もクリア出来ることを期待します。

弊社では今年度から次年度に掛けて解決しなければならない問題が多数あります。受注物件の取り合い、エネルギー価格の高騰とそれに伴う建築資材の値上げ、熟練した技術者の確保、老朽化した機械設備の更新、労働者の意識の変化等簡単に解決できることではありません。特に、人材不足は深刻で、求人を出しても思うように人は集まらず、派遣会社を通じて外国人の溶接技術を持った人を紹介して頂くとか、外国人技能実習生を採用するとかして何とか凌いでいます。今居る従業員のスキルアップも必要です。これとは別に、けがき作業・溶接作業のロボットも積極的に活用しようと考えています。

次年度は大型物件を受注していますので、更にデジタル化を進め作業精度を高めコストを抑え、工程の調整が順調に進めば業績アップが見込めるでしょう。



現在の日本は「再生可能な自然エネルギーを広めていきましょう。」ということになっています。太陽光発電や風力発電を大いに推奨していますが、これらは天候や自然災害に左右され、設置するには山や海の広い場所が必要であり、尚且つ森林を伐採することで自然を破壊し山の保水力を失わせ土砂災害を引き起こす原因にもなり、風光明媚な景観をも壊しています。これから益々電力が必要とされるときに太陽光・風力発電を増やしても安定供給（ベースロード電源）出来ません。現に全国で設置に反対している自治体が多数あるようです。山の多い日本ではこれ以上増やすのは難しいと思います。

地球の温暖化は進んでいると思います。2020年の統計では、日本のCO₂排出量は約10億トンで世界の3.2%で5位となっています。上位は中国・アメリカ・インド・ロシア、この4カ国で世界の57%強を占めています。この4カ国に頑張っ対策を取って頂きたいです。日本の電力料金は世界で最も高いと言われてています。現在ある原子力発電や世界最高水準で大気汚染物質の90%以上を除去し、発電効率も良い火力発電を稼働・増設して電力料金を下げて、又、料金に含まれている“再エネ発電賦課金”を撤廃してくれれば日本の経済活動は多いに発展するでしょう。消費税も下げてくれれば尚良いのですが……。



ea21の活動について何か疑問・質問・意見等ありましたら担当者まで申し出て下さい。来年度に活かせるようにしたいと思います。

最後までお読み頂きありがとうございました。

令和5年11月20日

ea21 担当者より

